

様式 A 実践英語Ⅱ（ランボー エリック）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	実践英語Ⅱ Practical English II		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般・外国語	授業形態・学期	講義・前期
	対象学生	MS－2・EC－2	必修・選択の別	選択
	担当教員・所属	Eric Rambo・総合理工学科情報システム系		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	英語・英米文学・言語学・音声学		
	専攻科学習目標との 関連	本科目は専攻科学習目標「(4) 特別研究を自主的、積極的に推進することにより、技術者として必須の問題発見能力と課題解決能力、すなわち創造的な成果を生み出すデザイン能力、研究能力を身につけるとともに、研究結果を学会などで発表し、他の研究者や技術者との交流を通じて、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身につける」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成、F-3：技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」である。		
	授業の概要	プレゼンで頻用される表現やテクニックを学習しながら、自分の卒業研究について英語で発表する。TOEIC テストの準備も行う。		
	学習目的	研究結果を学会などで発表し、他の研究者や技術者との交流を通じて、プレゼンテーション・コミュニケーション能力を身につけていること。		
	到達目標	1. 本科で修得した英語コミュニケーション能力を発展させ、身近な事柄及び自分の専門に関する基本的な情報や考えを理解したり伝えたりする基礎的な英語運用能力を養う。 2. 国際会議で通用するレベルのプレゼンテーションができる。 3. 自分の到達度を測る手段として TOEIC を利用し、履修後にスコアを上げることができる。 ◎技術者や一般市民など、コミュニケーションの対象者によらず相手を理解したうえで、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ることができる。		
履修上の注意		本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1 単位あたり授業時間として 15 単位時間開講するが、これ以外に 30 単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。		
履修のアドバイス		授業には積極的に参加し、課題は必ず期限内に提出すること。英語力を判断する手段として TOEIC が広く認められている現状を踏まえ、TOEIC を積極的に受験する姿勢を持って欲しい。		
基礎科目		英語Ⅳ（4 年）、選択英語Ⅰ（4）、英語Ⅴ（5）、選択英語Ⅱ（5）		
関連科目		実践英語Ⅰ（専 1 年）、技術英語講読（専 1）		

授業にかかわる情報				
授業の方法		教科書の表現を利用して自分の言いたいことを英語で表現できるようにする。同時に、TOEIC のテキストを用いて、単元毎に文法の解説も含みながら、TOEIC 受験に向けた対策も進めていく。		
授 業 計 画	開講週		授業時間内の学習内容〔項目〕 (指示事項)	授業時間外の学習内容 〔項目〕(指示事項)
	前 期	1 週	▪ 年間ガイダンス, e-learning 及び TOEIC の説明	▪ TOEIC Units 1-8 Vocabulary, grammar and pronunciation; Reading comprehension
		2 週	▪ Describing company foreign operations (investment, training, etc.)	
		3 週	▪ Quiz: Researching a company and product, and the company’s foreign operations	
		4 週	▪ Quiz: Making charts and graphs for PPT-1,	
		5 週	▪ PPT-1 corrections, practice	
		6 週	▪ <u>PPT-1 を行う、ファイルを提出</u>	▪ Quiz preparation, PPT-1 research and practice
		7 週	▪ まとめと中間試験対策	
		8 週	▪ 中間試験	
		9 週	▪ Improving your Curriculum Vitae (CV)	
		10 週	▪ Conducting a job interview in English, PPT-2 preparation: “My Seminar Research”	
		11 週	▪ Describing applied research	▪ TOEIC Units 7-12 Vocabulary, grammar and pronunciation; Reading comprehension
		12 週	▪ Quiz: PPT-2 corrections, practice	
		13 週	▪ <u>PPT-2 を行う、ファイルを提出</u>	
		14 週	▪ まとめと期末試験対策 (期末試験)	
		15 週	▪ 後期期末試験の答案返却と試験解説	
教科書, 教材等		教科書: Mizumoto, A. and Stafford, M. D. <i>Successful Keys To The TOEIC Test 2 (Goal 600)</i> Pearson/Longman 2010 参考書: 辞書 (電子辞書可) ハンドアウトを綴じるための A 4 サイズのプラスチックフォルダーも必要。		
成績評価方法		毎週の演習 (口頭発表・課題提出・小テストなど) を 50%, 筆記試験を 50%とし、合計により評価する。筆記試験では持込一切不可。		
受講上のアドバイス		授業前に必ず、予習をしてくること。e-learning システムを利用して自学自習すること。授業開始後の入室は遅刻とみなし、2 回の遅刻で 1 単位時間の欠課とする。		

ルーブリック							
	理想的なレベルの目安（優）		標準的なレベルの目安（良）		未到達レベルの目安（不可）		
評価項目 1	TOEIC450 点以上のレベルの語彙，文法，読解，聴解問題を解くことができる。		TOEIC400 点程度のレベルの語彙，文法，読解，聴解問題を解くことができる。		TOEIC400 点程度のレベルの語彙，文法，読解，聴解問題を解くことができない。		
評価項目 2	英語で表を作成し，英語でスムーズに説明することができる。		英語で表を作成し，英語でなんとか説明することができる。		英語で表を作成し，英語で説明することができない。		
評価項目 3	国際会議で通用するレベルのプレゼンテーションがスムーズにできる。		国際会議で通用するレベルのプレゼンテーションができる。		英語でのプレゼンテーションができない。		
評価項目 4	英語での活動に積極的に参加することができる。		英語での活動に参加することができる。		英語での活動に参加することができない。		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	50	30	0	0	10	10	100
基礎的能力	50	30	0	0	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0